



上昇気流に乗る千葉西マリクラブナイン

# 進化する東関東支部2チーム

◆千葉西マリクラブ◆

選手名	学年	所属校	投打	守備	身長	体重
高橋 大輝	3	慶徳学院	右	投手	170	55
栗原 大翔	3	大和学院	右	野手	169	55
今谷 和公	3	東金北中	右	野手	165	60
江崎 隆	3	東草野中	右	野手	175	50
外崎 隆	3	東草野中	右	野手	165	59
松崎 隆	3	東草野中	右	野手	165	65
武原 隆	3	東草野中	右	野手	152	40
市川 隆	3	東草野中	右	野手	160	50
梁瀬 隆	3	東草野中	右	野手	160	45
秋瀬 隆	3	東草野中	右	野手	162	50
酒井 隆	3	東草野中	右	野手	160	47
金子 隆	3	東草野中	右	野手	155	45
海老原 隆	3	東草野中	右	野手	166	50
前田 隆	3	東草野中	右	野手	162	45
					165	50

全日本少年硬式野球連盟

Young Baseball League

全日本少年硬式野球連盟

毎月第2、4水曜掲載

進化を続ける千葉西マリクラブ(東関東支部)と、進化の入り口に立つ足立グレートB・B・C

（同）千葉西は創部5年で全国大会切符獲得への手応えをつかみ、創部7月の足立グレートは時間、約束を守り、あいさつの慣行など人間形成を重視し、地域に根ざしたチーム作りを目指す。

「高橋監督も「粘り強く最後まであきらめな」と熱く語り「礼儀正しく、社会に通用する人間に成長してほしい」と願っている。」と高橋慶主将(3年)は話す。

◆千葉西マリクラブ(東関東支部) 2005年(平17)11月、千葉市で誕生。チームスローガンは「感謝する心、思いやりの心、自分から挑戦する心」。小沼良男代表、斎藤衛監督。

## 創部5年目全国出場手応え千葉西マリクラブ

「千葉西マリクラブ」05年の創部から4年間は選手が集まらず、苦労を重ねた。大会で調子が悪い選手がいても、交代させる選手がいなかった。ただ試合経験を積むだけの毎日だった。勝つ喜びを体験することなど遠いことだった。

しかし昨年、東日本秋季大会で全国大会出場。常連・西湘パワフルズと南東北ヤングベースボールクラブを破りベスト4に進出してから、チームがガラリと変わった。

「選手は、言葉で言い表せないほどの自信を持った。1つのきっかけでこんなに変化が出てくるのは...」。斎藤衛監督も驚くほど、選手は積極的に動くようになった。

毎年10人前後だった部員が17人に増え、選手間の思いやりの芽生え、成績も上がってきた。今年の東関東支部春季大会3位、選手権大会予選は4強だ。現在、9月に行われる西関東支部新人戦兼11年春季大会予選を勝ち抜き、全国大会切符の獲得を目指している。

「どんなに負けていても逆転を信じてプレーできるチームにすることが目標でした。そこに1歩1歩近づいていると思います」と高橋慶主将(3年)は話す。